達成度: H29.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

まちづくり課の目標(平成28年度)自己評価書

まちづくり課長 松本 有二

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は 達成できなかった理由等
1 町道の整備と維持		
(1)整備	3	(1) 国道51号と296号を連絡する道路については、
JR成田線で分断された中心市街地の円滑な交通処理を図るため、計画してい		JR軌道横断の工法検討を実施しました。
る国道51号と国道296号を連絡する道路について、関係機関との協議を進め、		伊篠地区、本佐倉地区の道路拡幅工事については、
実施設計を行います。また、中央台地区から中川を横断し酒々井消防署に連絡す		一部区間を舗装工事し、供用を開始しました。
る道路の用地取得を進めます。		酒々井地区の歩道設置工事については、一部区間で
その他、伊篠地区や本佐倉地区(根古谷)の道路拡幅工事や酒々井地区(横町)		無電柱化に向けた共同溝の埋設工事を実施しました。
の歩道設置工事を行います。		中央台地区から消防署を連絡する道路の用地につ
(2)維持		いては、用地取得が進みませんでした。
主に幹線道路について、ひび割れ等の路面状況を踏まえ、緊急性のあるものを	4	(2) 町道3路線の舗装修繕工事を実施しました。
優先し、3~5路線の舗装修繕を行います。		
2 中川流域の水害対策	3	洪水検討業務委託を実施、JR下流部及び開発計画の
調節池整備の実現に向け、社会資本整備総合交付金や他の交付金の活用、その		流出抑制を基本に洪水処理計画を検討し、事業化に向け
他有効な財源確保に努め、事業化を図ります。		進展しました。
3 人口減少対策		
(1) 土地利用の促進	3	(1) 立地適正化計画策定業務を実施、その中で区域検討
駅周辺や市街化区域内の未利用地について調査分析し、地域の実情に合わせ		に向けた基本方針、居住誘導・都市機能誘導区域の考
た計画を策定するなど、適正な土地利用への誘導、促進を図ります。		え方を整理しました。

(0)	7-7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1
(2)	空家対策

適切な管理が行われていない空家が防災、衛生、景観等地域の住民の生活環境に影響を及ぼしていることから、空家発生の防止と解消、有効活用について取組んでいきます。

4 その他まちづくり施策

(1) 景観計画の策定

酒々井町の自然や歴史、文化などの景観特性をふまえ、「酒々井町歴史文化基本構想」等との整合を図り、酒々井町独自の景観計画を策定します。

(2) 耐震改修の促進

耐震改修の促進を図るため、従来の補助制度に加えて、新たに個人負担の少ない「耐震シェルター」等の補助制度を検討します。

(2) 空家実態調査、所有者意向調査 (アンケート)、現 状分析、現状課題分析を行いました。

3

5

5 (1) 酒々井町景観計画(本編、概要版)の策定が完了しました。

(2)満65才以上の方、または障がい者の方が居住している世帯に対し、耐震シェルターについては、上限50万円、耐震ベッドについては、上限20万円で補助を行う制度を開始しました。